



2025 年 9 月 17 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ビ ー ア ン ド ピ ー
住 所 大 阪 市 西 区 江 戸 堀 二 丁 目 6 番 33 号
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 和 田 山 朋 弥
(コード番号：7804、東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 経 営 管 理 部 部 長 近 藤 恵 太
(TEL. 06-6448-1801)

2025 年 10 月期 第 3 四半期決算発表 質疑応答集

当社の 2025 年 10 月期 第 3 四半期決算に関して、当社で想定した質問、および、株主や投資家などの方々からいただいたお問い合わせや感想について、当社からの回答を以下の通りお知らせいたします。なお、本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものです。決算内容の詳細については、2025 年 9 月 9 日に開示しております決算短信および決算説明資料をご覧ください。

質問 1： 2025 年 10 月期は通期業績予想の達成に向けて非常に順調かと思えます。中期経営計画最終年度となる来期 2026 年 10 月期目標について、業績計画の前提や達成確度を現在わかる範囲で教えてください。

2025 年 10 月期はインバウンド需要などにより国内企業の販売促進活動が活発化したことや、新規事業であるデジタルクリエイト、プリントソリューション、オーダーグッズ制作が順調に伸びていることにより、現時点において通期業績予想を上回る状況で進捗しております。

中期経営計画の最終年度となる来期 2026 年 10 月期は、売上高目標 50 億円、営業利益目標 7 億 5 千万円を掲げており、それに向けて事業計画の精査を進めておりますが、当期の好調な状況に加えて、シンガポールの ZKDigimax 社が提供する AI カメラ連動のデジタルサイネージについて小売店舗を中心に拡販が進むことや、グループ化したイデイとの協業やイデイの業績改善が本格化することなどのプラス要因を考慮しますと、中期経営計画で掲げた目標数値は十分達成可能と考えております。

質問 2： 大阪・関西万博について、業績への影響度合いを教えてください。

当期の第 3 四半期累計の連結ベースの売上高は前年同期の単体ベースの売上高と比較して 30.1%増収となりました。大阪・関西万博の会場関連の売上もありますが、業績に大きく影響する規模ではなく、グループ化したイデイを連結したことによる効果に加え、インバウンド需要などにより国内企業の販売促進活動が活発化し、主力のインクジェットプリントの取引が拡大したことが主たる増収要因です。また、インクジェットプリントと比較すると小規模ですが、新規事業であるデジタルクリエイト、プリントソリューション、オーダーグッズ制作が順調に伸びており、売上と利益の両面で業績に貢献しております。大阪・関西万博の会場関連の売上

につきましては、通常の販売促進関連の売上と比べると業績への影響は少ないため、今後の見通しにつきましては、国内経済の動向に大きな変化がない限り、当社の業績が大きく変動することはないと考えております。

質問3：成長投資と株主還元へのバランスについてどのような方針でしょうか。

当社は、株主の皆様に対してより積極的な利益還元を実施するため、事業拡大のための成長投資を行いながら、安定的な配当を継続して実施することを基本方針とし、2024年10月期より株主優待制度を導入し、中期経営計画において2026年10月期の配当性向40%を掲げております。

今後も生産効率化のための設備投資や成長のためのM&Aなど、企業価値向上のための成長投資を行いつつ、手元資金や業績の状況に応じて株主還元を積極的に実施いたします。

以上